

Ⅲ 調査結果

1	調査結果の分析	15
1-1	近くにある金融機関	15
	○ 自宅の近くにある金融機関	
1-2	現在利用している金融機関	16
	(1) 現在利用している金融機関	
	(2) 預貯金額が最も多い金融機関	
	(3) 利用回数が最も多い金融機関	
	(4) 「預貯金額が最も多い金融機関」別「利用回数が最も多い金融機関」	
	(5) 口座引落の利用件数が最も多い金融機関	
1-3	金融機関を選択する理由	25
	(1) 預貯金額が最も多い金融機関を選ぶ理由	
	(2) 「預貯金額が最も多い金融機関」別「金融機関を選ぶ理由」	
	(3) 利用回数が最も多い金融機関を選ぶ理由	
	(4) 「利用回数が最も多い金融機関」別「金融機関を選ぶ理由」	
1-4	金融機関店舗、A T M・C D（自動預払い機等）等の利用状況	29
	(1) 利用方法別利用頻度	
	(2) 世帯主年齢階級別 A T M・C Dの利用頻度	
	(3) 単身世帯のA T M・C D利用頻度	
	(4) 「利用回数が最も多い金融機関」別「外務員の訪問頻度」	
	(5) A T M・C Dがあると便利だと思う場所	
	(6) A T M・C Dに関する要望	
1-5	コンビニA T Mの利用	35
	(1) コンビニA T Mの利用経験の有無	
	(2) コンビニA T Mを利用した感想	
	(3) コンビニA T Mを利用しない理由	
1-6	金融機関で行っている取引	38
	(1) 現在、金融機関で行っている取引	
	(2) 預貯金額が最も多い金融機関との取引	
	(3) 「預貯金額が最も多い金融機関」別「現在行っている取引」	
	(4) 利用回数が最も多い金融機関との取引	
	(5) 「利用回数が最も多い金融機関」別「現在行っている取引」	
	(6) 口座引落等の利用件数が最も多い金融機関との取引	

1-7	金融機関から教えてほしい情報	45
	○金融機関から教えてほしい情報	
1-8	料金の支払い方法	46
	(1) 「定期的な支払」で最も多く利用した送金手段	
	(2) 「通信販売の代金支払」で最も多く利用した送金手段	
	(3) 「定期的な支払」で最も多く利用した送金手段の選択理由	
1-9	インターネットを使った金融取引	49
	(1) インターネット上で金融取引経験の有無	
	(2) インターネットバンキングの利用頻度	
	(3) インターネットバンキングの利用内容	
	(4) インターネットバンキングで利用したサービス	
	(5) インターネットバンキングの利用意向	
	(6) 世帯主年齢階級別 インターネットバンキング利用意向	
	(7) 利用経験別 インターネットバンキング利用意向	
	(8) インターネットバンキングで今後利用したいサービス	
	(9) インターネットバンキングの利用上限金額	
	(10) 利用経験別 インターネットバンキングの利用上限金額	
	(11) インターネットバンキングへの考え方	
	(12) 利用経験別 インターネットバンキングへの考え方	
1-10	ペイオフの解禁について	58
	(1) ペイオフ解禁の認知	
	(2) 貯蓄総額階級別 ペイオフ解禁の認知	
	(3) ペイオフ解禁に備えて実施したこと	
	(4) 貯蓄総額階級別 ペイオフ解禁に備えて実施したこと	
	(参考1) 過去調査設問との対照表	61
	(参考2) 第1回～第7回 調査設計 対照表	62
	(参考3) 第1回～第7回 集計項目一覧	63
2	調査票及び単純集計結果	65

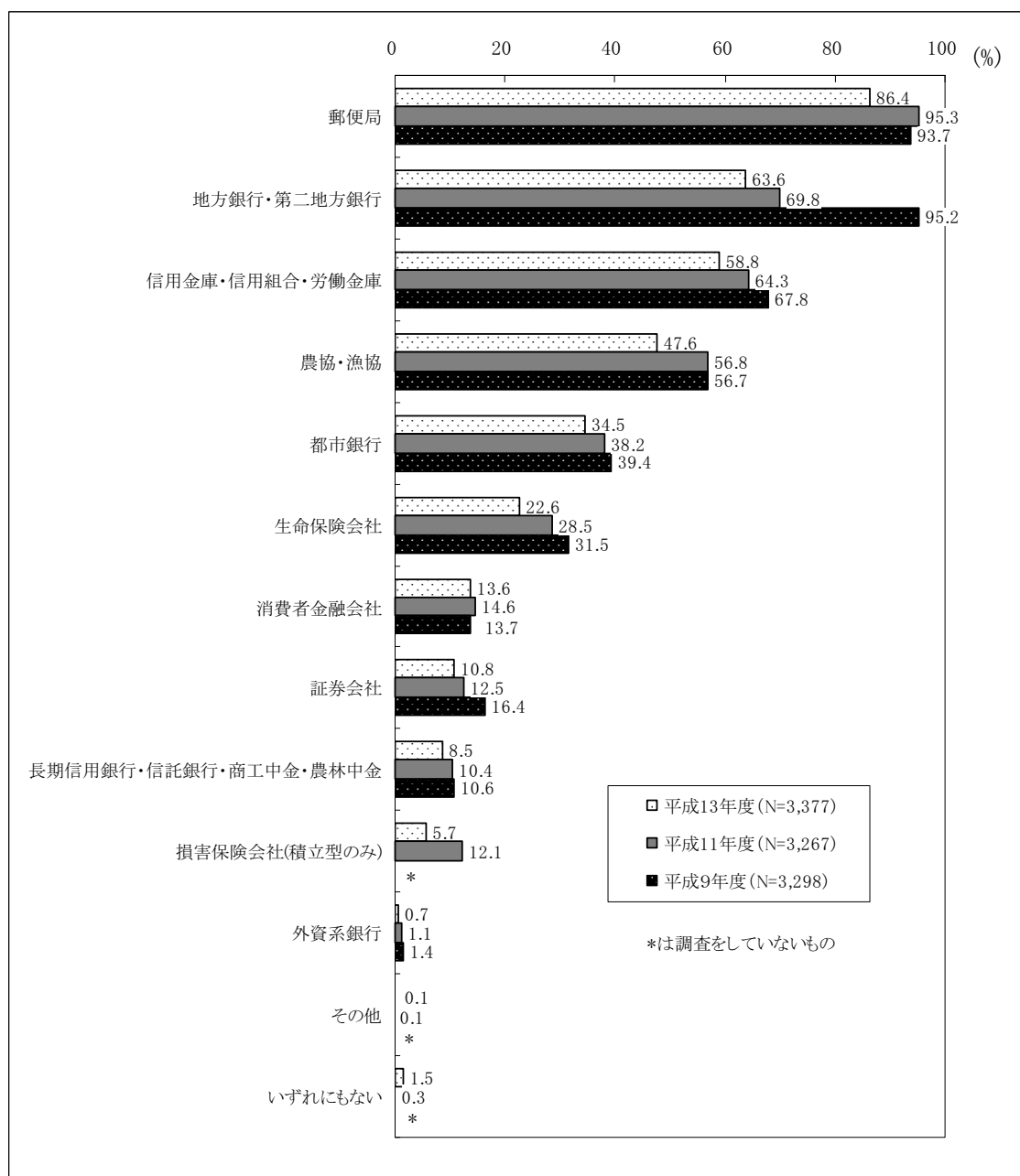
1 調査結果の分析

1-1 近くにある金融機関

○ 自宅の近くにある金融機関（問1-1 複数回答）

自宅の近く（自家用車、自転車、徒歩等、日常利用する交通手段で10分以内）にある金融機関としては、全国2人以上世帯では、「郵便局」（86.4%）の回答比率が高く、以下、「地方銀行・第二地方銀行」（63.6%）、「信用金庫・信用組合・労働金庫」（58.8%）、「農協・漁協」（47.6%）の順となっている。

過去3回の調査結果と比較すると、回答比率が低下する傾向があるものの、「地方銀行・第二地方銀行」が前々回の調査結果より大きく下がっている他は、順位に大きな変動はない。¹



¹ グラフ中の「*」は調査をしていないもの、「-」は該当がなかったもの、「0.0」は該当はあったが、四捨五入で「0.0」となるものをそれぞれ意味する。

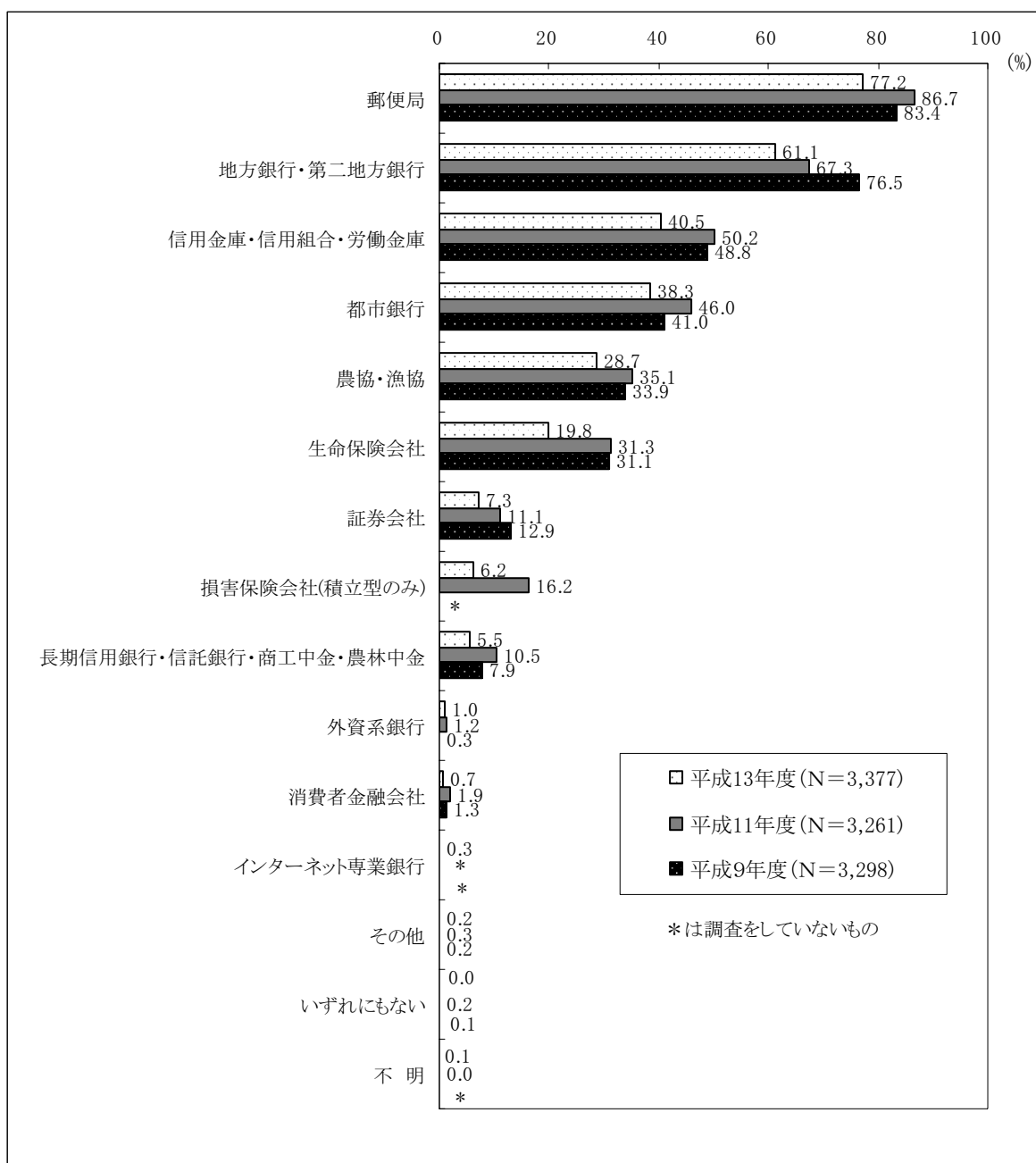
1-2 現在利用している金融機関

(1) 現在利用している金融機関（問1-3 複数回答）

(ア) 2人以上世帯

現在利用している金融機関としては、「郵便局」(77.2%)の回答比率が高く、以下、「地方銀行・第二地方銀行」(61.1%)、「信用金庫・信用組合・労働金庫」(40.5%)、「都市銀行」(38.3%)の順となっている。

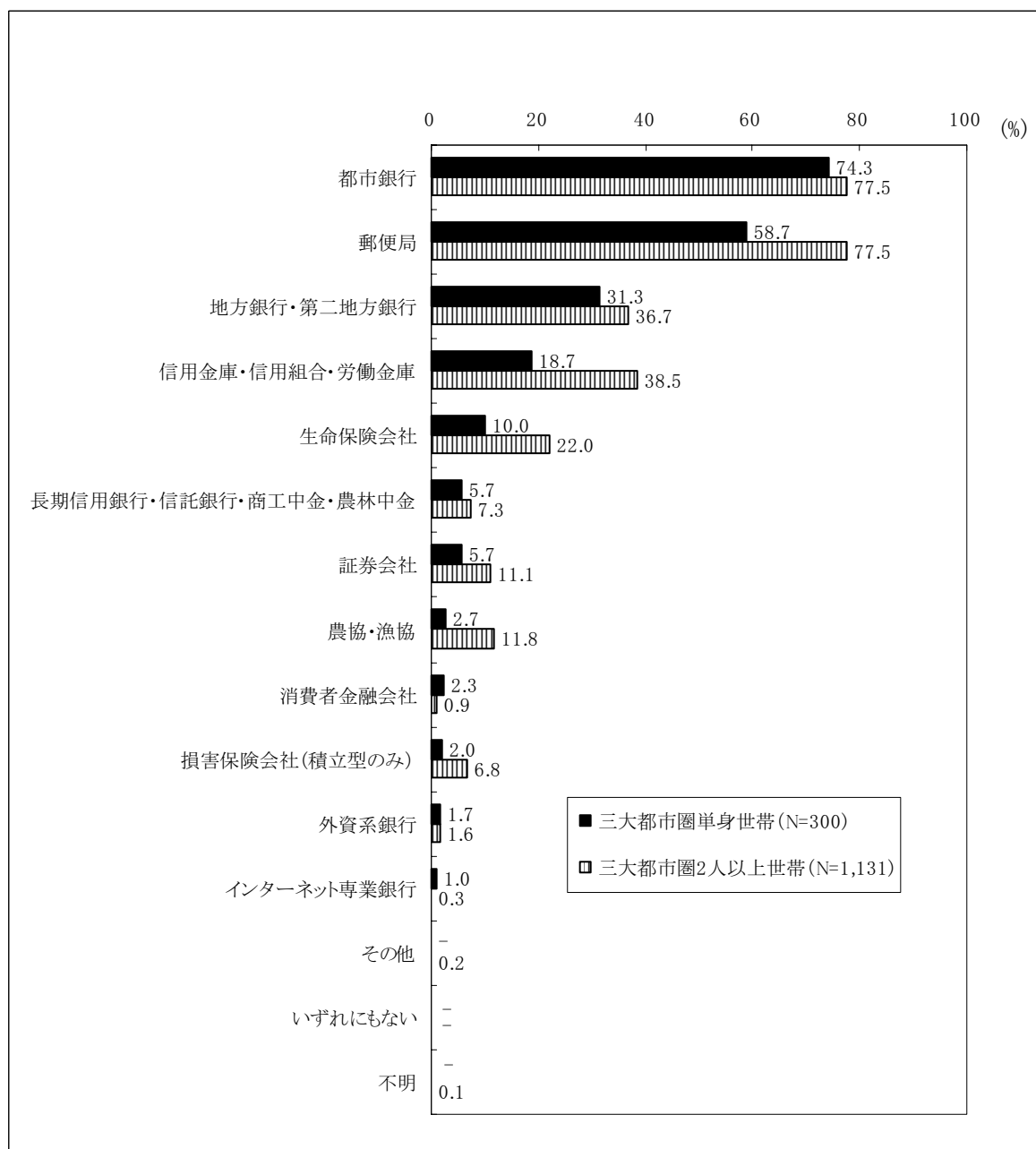
過去3回の調査結果と比較すると、回答比率が低下する傾向があるものの、順位に大きな変動はない。



(イ) 単身世帯²

単身世帯について、現在利用している金融機関としては、「都市銀行」(74.3%)の回答比率が高く、以下、「郵便局」(58.7%)、「地方銀行・第二地方銀行」(31.3%)、「信用金庫・信用組合・労働金庫」(18.7%)の順となっている。

三大都市圏2人以上世帯の調査結果と比較すると、すべての金融機関について単身世帯の回答比率が下回っている。



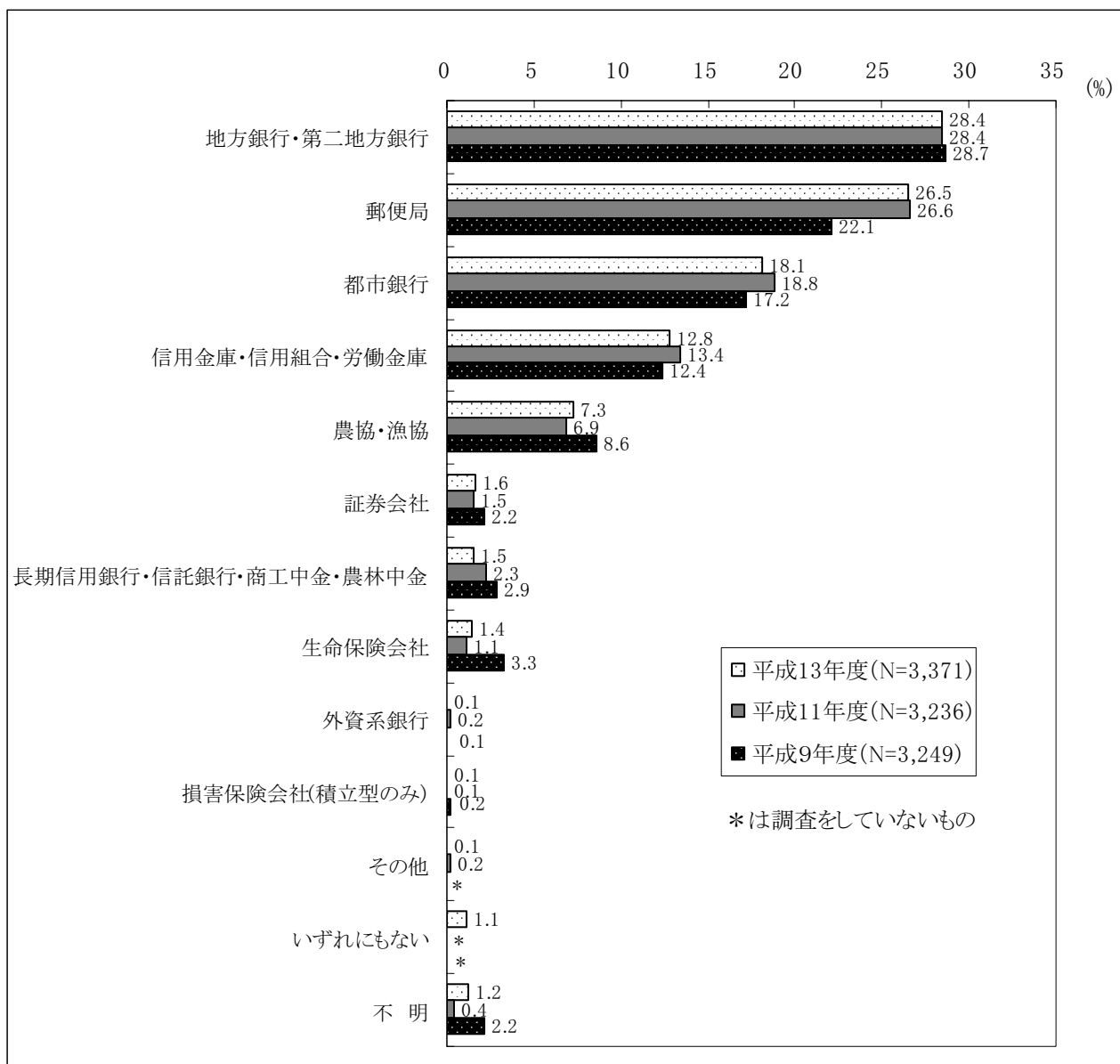
² 「単身世帯」は三大都市圏の単身世帯 300 世帯を対象とした完了調査。比較対象とした「三大都市圏 2人以上世帯」は、2人以上世帯を対象とした全国調査のうち、抽出対象地域を単身世帯と同じに設定した場合の該当世帯。詳細は「Ⅱ-1 調査概要」参照。なお、本分析では2人以上世帯について主に報告し、単身世帯については特徴が見られる項目のみ提示する。

(2) 預貯金額が最も多い金融機関（問1-3-1）

(ア) 2人以上世帯

預貯金額が最も多い金融機関としては、「地方銀行・第二地方銀行」（28.4%）の回答比率が高く、以下、「郵便局」（26.5%）、「都市銀行」（18.1%）、「信用金庫・信用組合・労働金庫」（12.8%）の順となっている。

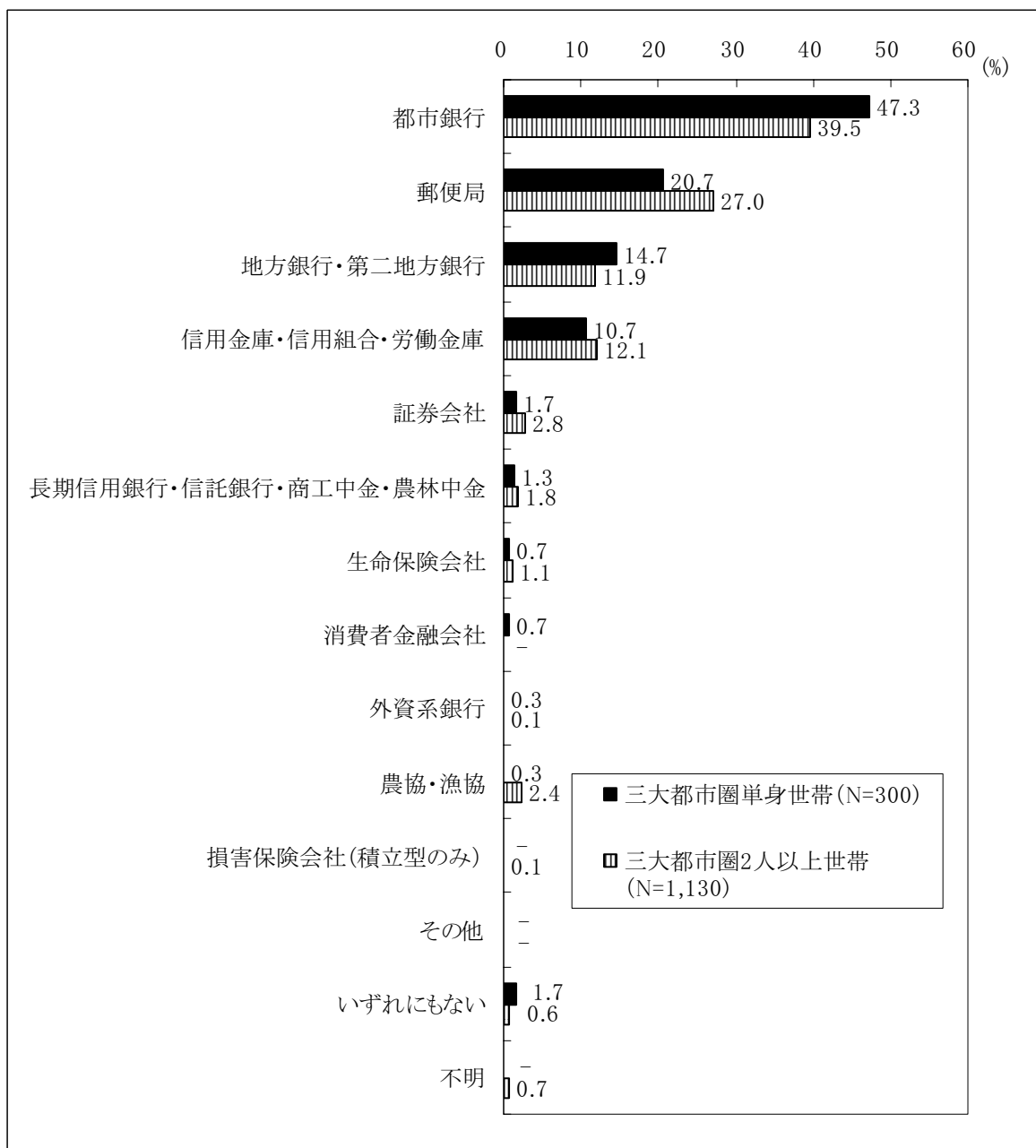
過去3回の調査結果と比較すると、上位の金融機関には順位、回答比率ともに大きな変化はみられない。



(イ) 単身世帯

単身世帯について、預貯金額が最も多い金融機関としては、「都市銀行」(47.3%)の回答比率が高く、以下、「郵便局」(20.7%)、「地方銀行・第二地方銀行」(14.7%)、「信用金庫・信用組合・労働金庫」(10.7%)の順となっている。

三大都市圏2人以上世帯の調査結果と比較すると、単身世帯は「都市銀行」の回答比率が高く、「郵便局」が低い。

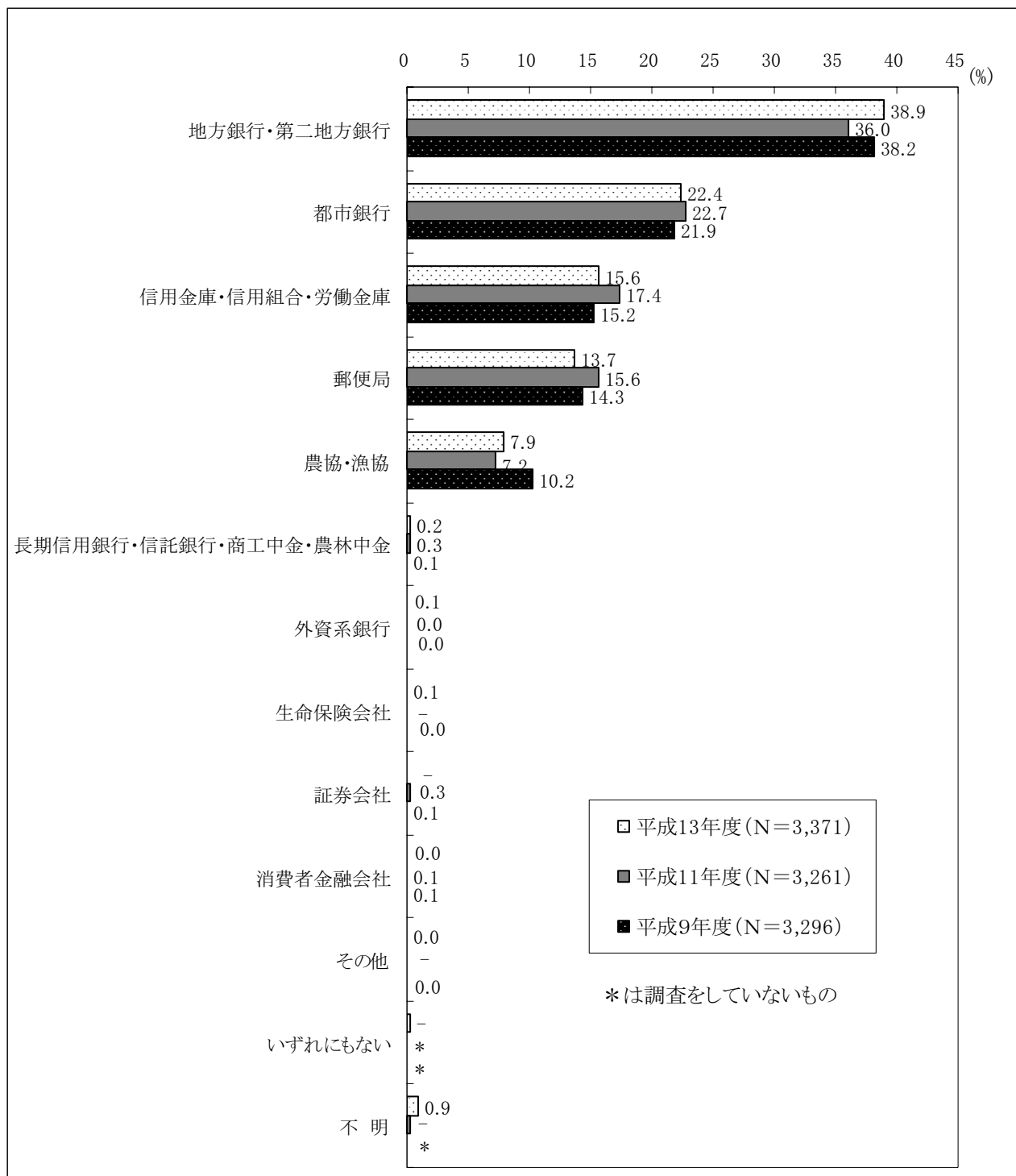


(3) 利用回数が最も多い金融機関（問1-3-2）

(ア) 2人以上世帯

利用回数が最も多い金融機関としては、「地方銀行・第二地方銀行」(38.9%)の回答比率が高く、以下、「都市銀行」(22.4%)、「信用金庫・信用組合・労働金庫」(15.6%)、「郵便局」(13.7%)の順となっている。

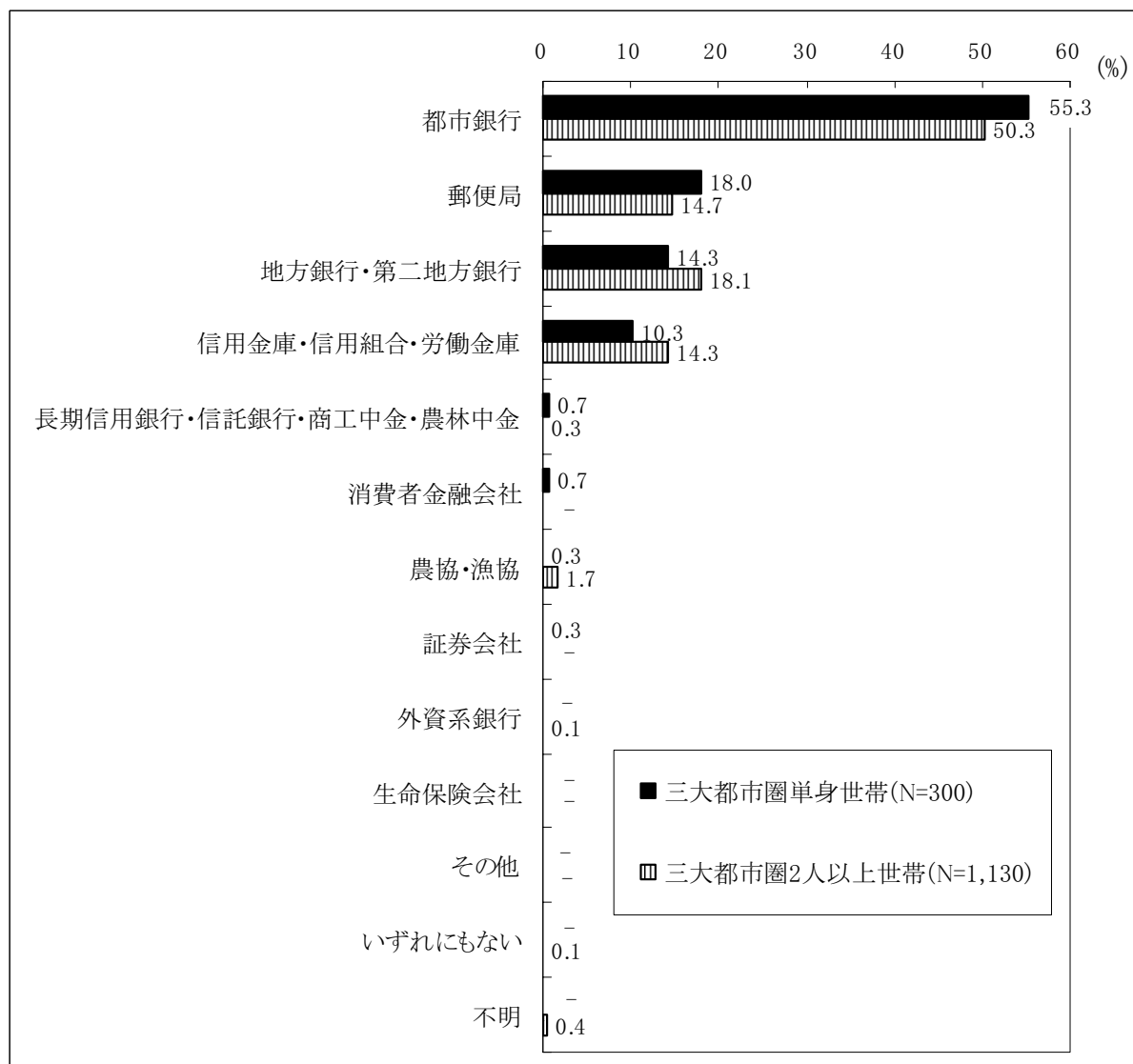
過去3回の調査結果と比較すると、順位、回答比率ともに目立った変化はみられない。



(イ) 単身世帯

単身世帯について、利用回数が最も多い金融機関としては、「都市銀行」(55.3%)の回答比率が高く、以下、「郵便局」(18.0%)、「地方銀行・第二地方銀行」(14.3%)、「信用金庫・信用組合・労働金庫」(10.3%)の順となっている。

三大都市圏2人以上世帯の調査結果と比較すると、単身世帯は「地方銀行・第二地方銀行」の回答比率が低く、3位となっている。

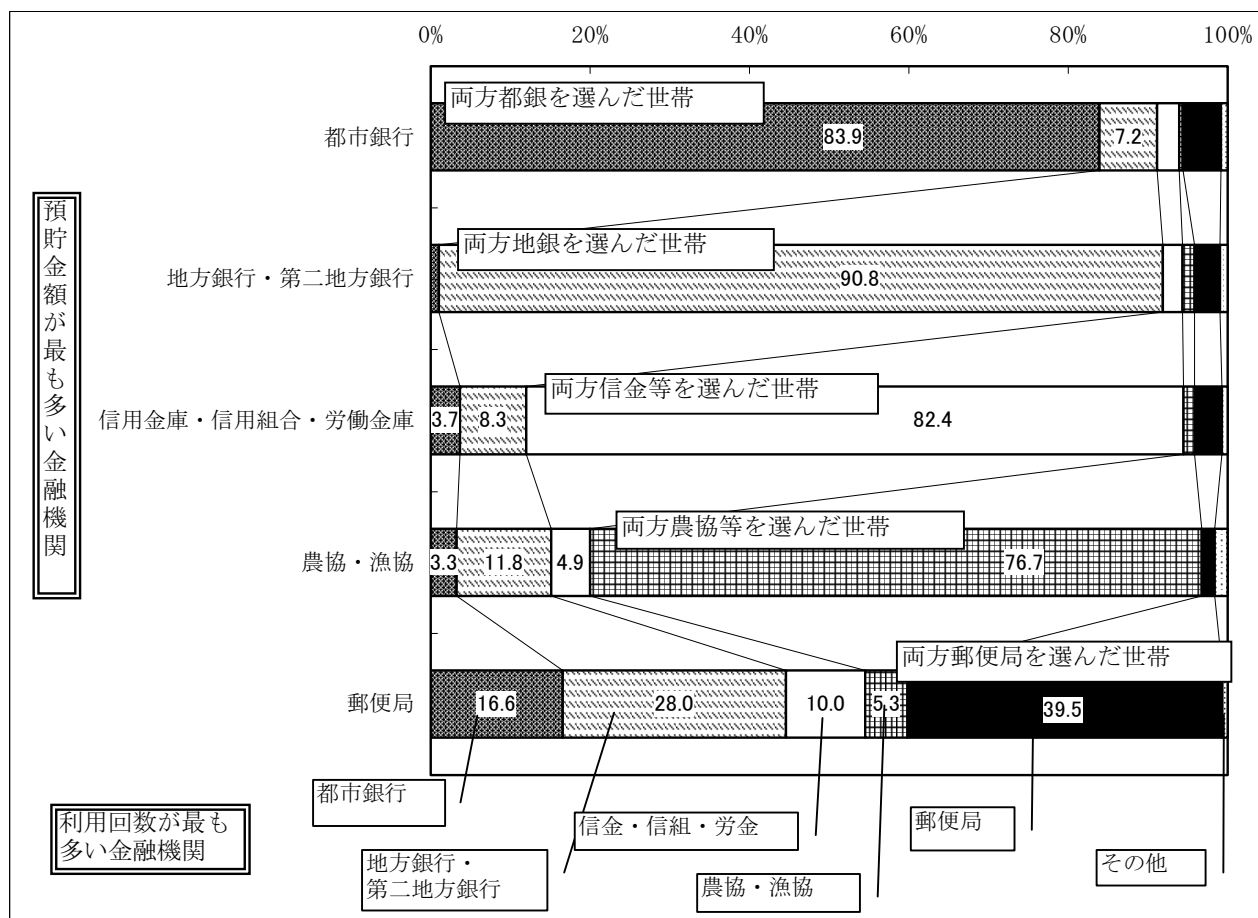


(4) 「預貯金額が最も多い金融機関」別「利用回数が最も多い金融機関」(問1-3-1)

全国2人以上世帯について、「預貯金額が最も多い金融機関」ごとに「利用回数が最も多い金融機関」を分析した。

「預貯金額が最も多い金融機関」が都市銀行である世帯のうち、「利用回数が最も多い金融機関」も都市銀行である世帯は83.9%となっている。以下、両方「地方銀行・第二地方銀行」は90.8%、両方「信用金庫・信用組合・労働金庫」は82.4%、両方「農協・漁協」は76.7%となっている。

「預貯金額が最も多い金融機関を最も回数多く利用する」世帯が大多数であるが、「預貯金額が最も多い金融機関」が郵便局である世帯については、「利用回数が最も多い金融機関」も郵便局である世帯が39.5%と、他の金融機関の半分程度となっている。



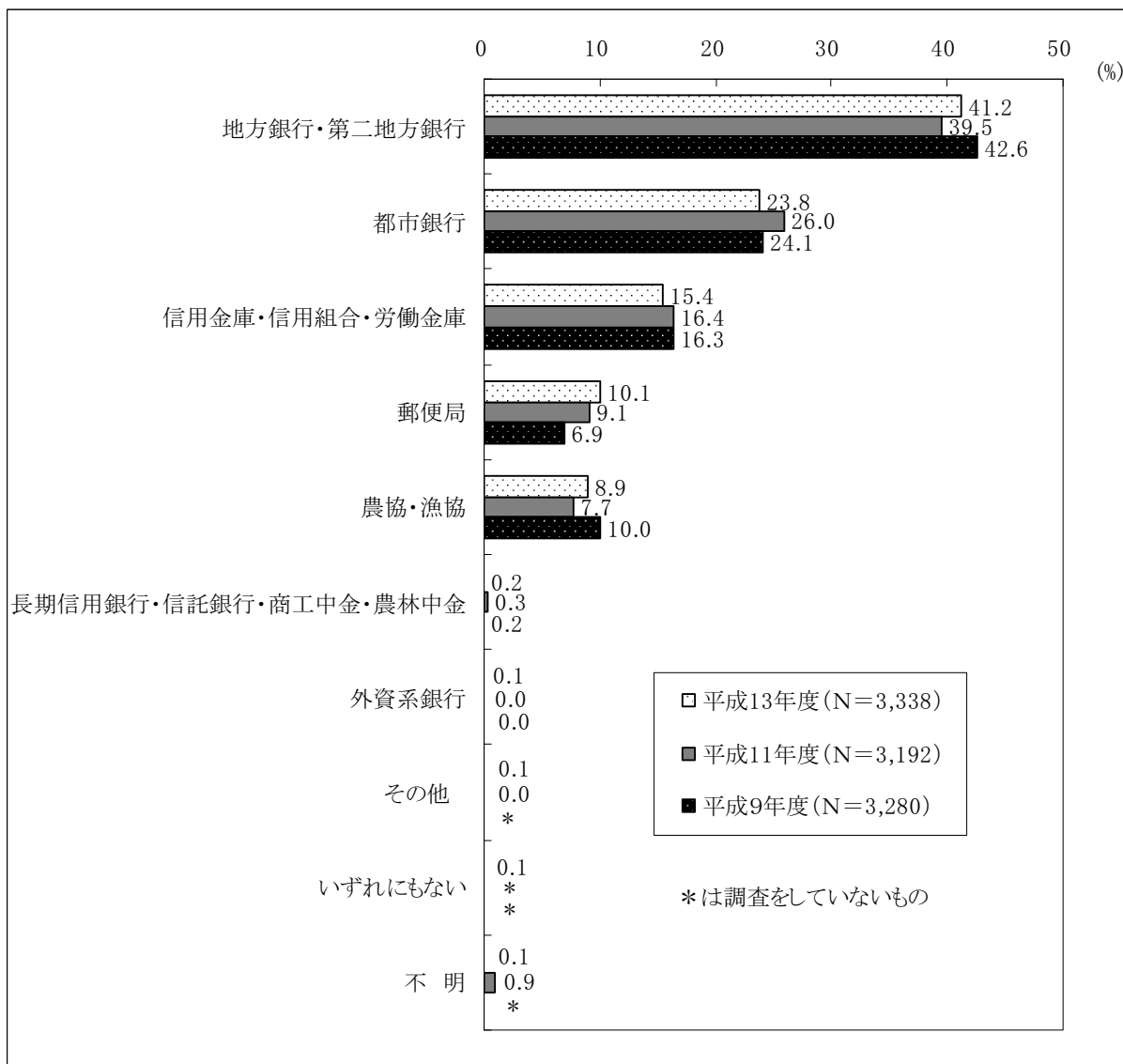
(全国2人以上世帯)

(5) 口座引落の利用件数が最も多い金融機関（問1-4-1）

(ア) 2人以上世帯

口座引落の利用件数が最も多い金融機関としては、「地方銀行・第二地方銀行」(41.2%)の回答比率が高く、以下、「都市銀行」(23.8%)、「信用金庫・信用組合・労働金庫」(15.4%)、「郵便局」(10.1%)の順となっている。

過去3回の調査結果と比較すると、上位の金融機関の順位、回答比率とも大きな変化は見られないが、郵便局は徐々に数値が上がっている。



(イ) 単身世帯

単身世帯について、口座引落の利用件数が最も多い金融機関としては、「都市銀行」(54.2%)の回答比率が高く、以下、「地方銀行・第二地方銀行」(17.3%)、「郵便局」(15.3%)、「信用金庫・信用組合・労働金庫」(10.2%)となっている。

三大都市圏2人以上世帯の調査結果と比較すると、単身世帯は「郵便局」の回答比率が高い。

